*PRESS RELEASE*

2013 年８月 29 日

# サプライチェーン全体の最適化を目指し 最新鋭の大型物流センター「ＲＤＣ宮城」を開設

## ～震災復興と地域雇用の創出に貢献～

株式会社Ｐａｌｔａｃ（本社・大阪市 代表取締役社長 折目 光司）は、本日最新鋭の大型物流センター「ＲＤＣ宮城」を宮城県白石市に開設し、2013 年９月から稼働いたします。

Ｐａｌｔａｃは、化粧品・日用品、一般用医薬品等の「美と健康」に関する商品をフルラインで取り扱う中間流通業として、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、メーカー様から小売業様の店舗に至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化をめざして事業を展開しております。

このたびの「ＲＤＣ宮城」開設に伴い、東北地区全体を既存の「ＲＤＣ東北」（岩手県花巻市）と２ヵ所体制でカバーし、同地区における出荷キャパシティが 350 億円から 700 億円に倍増するとともに、最新鋭のテクノロジーを駆使した高品質物流サービスをご提供し、同地区の小売業様及びメーカー様のご発展に貢献できる物流体制を構築いたします。

「ＲＤＣ宮城」は、南東北３県の県庁所在地（仙台市、福島市、山形市）のほぼ中央に位置する、宮城県南部の「白石インター工業団地」内にあり、東北自動車道白石インターチェンジに隣接するなど、交通アクセスにも大変優れた立地であります。また「ＲＤＣ宮城」は、卸売事業における汎用型物流センター機能（ＲＤＣ）と、同一建屋内に特定小売業様の物流業務を一括して請負う専用センター機能（ＳＣＬ）とを併せ持つハイブリッド型での運用を行うことが特徴であり、投資効率と物流効率の向上を図り、さらなる生産性向上によるローコスト化を実現いたします。

また、「ＲＤＣ宮城」開設にあたり、地元の新入社員を 13 名採用し、パート従業員 250 名（最大）の雇用を予定するなど、震災復興と地域雇用の創出に貢献してまいります。

（注）ＲＤＣ（Regional Distribution Center）：大型物流センター
ＳＣＬ（Supply Chain Logistics）：物流受託事業

### １．開設の目的

#### （１）南東北地区の小売業様への貢献

■最新鋭の物流機器の導入による高品質・高精度の物流サービスのご提供により、小売業様の店頭作業の効率化に貢献します。

・個口検品･･･店頭での検品作業の効率化に貢献します。

・カテゴリー納品･･･店頭での品出し作業効率化に貢献します。

・ＥＯＳ（電子発注システム）、ＥＤＩ（電子データ交換）の活用により、小売業様との間の受発注業務効率化に貢献します。

■小売業様の売上拡大や化粧品・日用品、一般用医薬品などの一括納品ニーズにも十分に対応できる出荷キャパシティ（年間 350 億円）を確保。

### （２）サプライチェーン全体の効率化を強力に推進

■「ＲＤＣ宮城」の稼働により、当社が推進するサプライチェーン全体の最適化・効率化に貢献します。

・ハイブリッド型運用によりトラック便の積載率の向上、トラック台数の削減など、メーカー様の納品利便性向上に貢献します。

・フルトラックロード化、最適在庫管理などメーカー様の受注から納品業務までの負担を軽減します。

・欠品を極限までゼロに近づける適正在庫管理が可能になります。

### （３）安心・安全のご提供

■自然災害などの有事の際においても、３日間の稼働を可能にする非常用自家発電装置を設置するなど、安心・安全の物流体制を構築し、中間流通業として生活必需品の安定供給責任を果たしてまいります。



＜３日間の稼働を可能にする非常用自家発電装置＞

## ２．ＲＤＣ宮城の特徴

### （１）効率的なオペレーションシステムの導入

■独自システムによる作業量計算、作業指示、生産性管理、配車計画など物流全体管理。

■３万を超えるアイテムの販売実績と需要予測をデータベース化し、欠品の無い最適なアイテム別在庫日数コントロールを実施。

### （２）最新テクノロジーの導入

■パレット自動倉庫、ケース自動倉庫と連動したピッキング棚への商品自動補充システム。

■ＪＡＮ/ＩＴＦコードスキャン、重量検品・検数による 99.999%の出荷精度。

■ＩＣタグを活用した出荷作業の効率化、オリコン管理の実施。

### （３）商品の鮮度・品質管理

■コンピュータによる精度の高い使用期限/賞味期限管理。

■温度管理・施錠管理による品質保証。

### （４）ＳＣＬ（物流受託）専用センターとの共同運用

■同一建屋内での柔軟なレイバースケジューリングによる人員生産性の向上。

■メーカー様からの入荷トラック台数の削減など、配送コストの削減に貢献。

### （５）働く人に優しい職場環境

■当社独自開発の自動化設備などを導入し、重労働作業・危険作業を排除。

### （６）地球環境に優しいロジスティクス（環境対策）

■ダンボール圧縮機・オリコン洗浄機の導入により資源・資材の有効活用を推進。

■センター内は、高輝度・低消費電力タイプ（一部ＬＥＤ）の照明機器を使用。

■ＲＤＣの屋上を賃貸し、太陽光発電パネルを設置。自然エネルギーを活用し、安心・安全なクリーンエネルギーの創出に貢献。また、屋上パネル設置による遮熱効果により、冷暖房のエネルギー消費量も削減。

## ３．施設概要

| | | |
|---|---|---|
| 所在地 | 〒989－0731　宮城県白石市福岡深谷字南沖 8 番地 2 | |
| 敷地面積 | 38,327 ㎡（約 11,594 坪） | |
| 建築面積 | 建坪 | 11,510 ㎡（約 3,481 坪）　地上 5 階建 |
| | 延坪 | 37,589 ㎡（約 11,370 坪） |
| | 内 自動倉庫 | 1,394 ㎡　（約 422 坪） |
| 年間出荷能力 | 350 億円 | |
| 総投資額 | 47 億円 | |




＜ＲＤＣ宮城　外観＞

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします
物 流 本 部・冨吉（ＴＥＬ ０６－４７９３－１０７５）
経営企画本部・嶋田（ＴＥＬ ０６－４７９３－１０９０）